

センターサポート(OT・PT) 小学部2年

・重度重複障がい（肢体不自由・知的障がい）

1学期

【身体面】気持ちの高ぶりが緊張になる。音に過敏である。保持すると腕を上げて背中に引かれる強い緊張が入る。定頸不安定である。
【認知面】発達と運動の高次化理論 II～III水準
腕を操作することは難しいがやろうとする。
日常会話は、大体理解している。

▶相談内容

●手が動かしやすい方法で、自分でできる時間割ボードを考えたいのですが、どうでしょうか。



▶アドバイス

【OT】

○手渡すときに、教員が物をいろいろ動かさずに固定してしっかり持たせてください。
○肘をつかせて、上体の安定や指のつけ根を意識させてください。



【PT】

○右手が出しやすい左肘の位置があります。
○「こっちこい（寄せる動き）」の腕の動きは、本児の得意な動きです。



▶教材の工夫

・右手の寄せる動きでできるように、手前にコロコロ転がすことができる時間割ボードにする。

・転がした勢いで落ちないように、転がし棒に溝を切り、時間割ボードの縁を転がるようにする。

・足裏でしっかりふんばれることができるような端座位姿勢をとる。
・机は、肘をついて体幹が安定しやすいような高さにする。

◎腕を動かしやすい端座位姿勢によって、得意な寄せる動きで時間割ができるようになり、本児が「できた」を実感することができた。
◎繰り返し学習することで動作が上達した。本児が自信を持てたことで、他の教材でも応用できることが増えた。



教材



姿勢